

テーマ： 『「もったいない」と思う心を育てる環境教育の推進』

秦野市立 本町小学校

Tel. 0463-81-1610 担当者： 富田 優子



■実践内容：

本町小学校では、エコ委員会の児童が中心となって「リサイクル戦隊！本町エコレンジャー！ゴミだって生まれ変わる！」を合言葉に環境活動に取り組んだ。実践内容としては、全国植樹祭を祝し、児童一人一プランターに花を植え小学校沿道に並べ自然愛護に関心を持たせた活動、またアルミ缶等を持参し環境意識を高める月2回のリサイクルデー、近隣小中学校と連携し河川敷を清掃する活動、特製の木箱を作り集めた落ち葉で腐葉土作りをして自家製肥料にする活動等、児童会や地域の活動にも積極的に参加し、環境を高め・護る活動を行った。

■実践成果：

今年度の特徴は、『月2回のリサイクルデー』『河川景観保全の緑化運動』など、家庭や地域、関係諸機関と連携した活動により、児童が地域に積極的に出て、自分たちのできることを進んで行動できたことである。『みんなで花を咲かせよう』では、全校児童が一斉に活動を行ったことにより、「植樹」に関心をもち、森林再生の姿を学校全体で共有し、地域や国土の自然を護ろうという実践力を身に付けることができた。また、「本町の森」からでる落ち葉で作った腐葉土を肥料に再生する活動は、自然のサイクルを知るよいきっかけともなった。

■実践ポイント：

低学年においては、生活科を中心に地域の自然と親しむ活動を通して環境に対する感性を育む場を構成し、中・高学年においては、総合的な学習の時間を通して生活環境を見直し秦野の自然の特性を知る活動を行った。児童会やPTA・地域の活動に積極的に参加する場を構成し、環境に働きかける地域の自然を護っていく活動を行った。